

私書箱
 100-91
 東京都中央郵便局
 私書箱916

AA日本ニュースレター

No.3

AA日本ゼネラル・サービス・オフィス内 広報委員会
 TEL 03-590-5377 160 東京都豊島区池袋 2-1083 橋ビル9F

JSOの移転費用特別献金

目標額を一月中旬に突破

常任委員会事務長からのお礼のメッセージ

昨年7月、信濃町から池袋へと移転したAA日本ゼネラル・サービス・オフィス(略称=JSO)の移転費用については、一応昨年末を目途に特別献金が募られたが、昨年内にほぼ目標額は達成され、更に新年の1月18日にはそれを突破するにいたった。

このことに関してAA日本関東サービス常任委員会の委員長から次のようなメッセージが公表され、仲間に対する公式の報告と感謝表明がなされた。

「私たちは回復と一体性、そして

サービスについて深く理解し活動している中で、お互いに快適なソプラエターを楽しんでおります。

さきにお知らせとともに、お願い申し上げましたJSOの移転費用(1,270,000円)の献金につきましては、昭和61年12月31日現在、献金額1,220,825円となりました(注:この金額はその後、62年1月18日現在1,285,277円となり、完全に目標額を突破しましたことをご報告します)

皆様から御協力頂きましたことを、心から厚くお礼申し上げます」

「サービス活動を支える献金」— 常任委員会の提案を別刷で

この程AAのサービス活動を支える献金について関東サービス委員会は、AA日本の全メンバーに対する提案を文書として発表した。

広報委員会では、この文書を本

誌の別紙として作成し、本年1月下旬全国各地域地区の全グループとその関係先に配布し、提案の趣旨徹底を期した。

文書委員会

「AAの文書を考える集い」の開催

— まず今春のラウンドアップの中で

このたび文書委員会では、これまで出版されたAAの刊行物や、将来必要とされる出版物について、広く仲間と関係者の意見を聞くために、「AAの文書を考える集い」を開催したい意向で、これが2月8日のサービス常任委員会で議題として提起され、同委員会で賛同を得た。

文書委員会としては、その第1回の集いを87年春のラウンドアップを機に、その会場で行う予定で、ラウンドアップ第2日目の午前開催を期して、目下ラウンドアップ実行委員会との間で調整中。

この1、2年、AAの翻訳出版物について、同委員会では、全面的な見直しの作業を進めてきた。翻訳改訂版も出版されてきた。これまでそれらについて読者側が意見を出し、同委員会のメンバーと直接話しあう機会は、限られたも

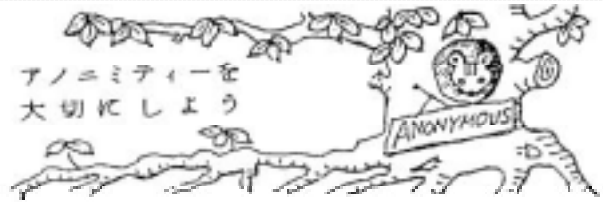
のでしかなかった。

今、一応の見直しを終えて、今後のAA出版活動の、より良い発展のために、まずこうした機会を持つこととなったものである。

今回のラウンドアップは、多くのメンバーが参加して、自由な話し合いの場を数多く設けたいという実行委員会の方針なので、いつもAAの出版物に接している全国の仲間や関係者の皆さんの、一人でも多くの参加を望んでいる。

又、諸外国のAA出版についてご存知の方は、資料をご持参下されれば幸いです、とも。

いずれ、文書委員会の出版業務は、AA日本サービス社とでもいような出版社の形態に移行するのが当然であろう。そうしたことへの準備の第一歩として、こうした小さな試みが大きなみりをもたらすことを期待したい。



伝統12 無名であることは、われわれの伝統全体の霊的基礎である。それは各個人よりもAAの原理が優先すべきことを、いつもわれわれに思い起こさせるものである。

「12ステップと12伝統」を見れば、「個人の名をあらわさないというアノニミティーの霊的内容は、奉仕である。われわれは、アノニミティによって象徴される、奉仕の精神こそ、伝統全体の基礎であることに気付いている。12の伝統が、全体の福利のために個人的欲望を捨てるように、くりかえし要請しているからである」とある。

奉仕とは無償の行為—

一切の見返りを考えない純粹な行為から生まれる。そしてそれは真の謙虚さの実践から導き出される行為である。AAの生き方はこの精神に一貫している。

われわれは初めてAAのミーティングに出て、無名であることによって、正直になれた。正直に自分の過去がどうであったか、何が起こったか、そして今どうであるか、を話すことが出来た。

そしてAAの霊的な生き方につながる事が出来、回復と成長の軌道を、AAの原理に支えられた軌道を歩みはじめた。「ここに誰が出席し、何を語ったか、は外部に対して秘密とする」ことで、われわれは他人の噂と軽蔑の怖れから解放された。

それ故われわれは自分のアノニミティを大切にしよう、ということは容易にうなずける。自分のアノニミティを大切にすると同時に、仲間である他人のアノニミティも尊重しなければならない。ましてその人のプライバシーに立ち入るようなことは出来る筈がない。

AAの成長とわれわれ自身の成長に伴って、一般市民社会にAAのメッセージを伝えるオープン・ミーティングを持つようになってから、初期の秘密結社めいたものであることは出来難くなった。

それだからこそアノニミティをあくまでも大切に、真の謙虚さに徹底することだけが、われわれの持ち得る最大の安全保障だ、ということをもみんなで今一度考えていこう。

病院施設委員会

病院・施設・専門家との協力を

どう進めて行くか ————— 病院施設委員会集会の開催

病院施設委員会では、日頃AAのメッセージ活動にたずさわっている各グループの委員、窓口、メンバーとともに、AAグループとして、地区毎のメッセージ活動での病院・施設・また専門家の人々との協力を、具体的にどう進めていったらよいか、についてお互いの経験を語り、考え合う為の時を持つために、第3回病院施設委員会集会を下記の要綱で開催する。

中野区中野4-8-1
 (中野サンプラザ隣り)

一人でも多くの窓口メンバーの参加協力をお願いします。



記

日時: 昭和62年3月8日(日)
 午後 1:30 ~ 4:00
 場所: 中野区役所 2FB 会議室